学報 新花

國學院大學
栃木短期大学
栃木市平井町608
〒328-8588
TEL0282-22-5511
FAX0282-22-5743
編集　学報編集部

第160号

まどかなる　老いのこころを願へども　鎮まりがたし。国も　われらも

『バグダッド燃ゆ』　岡野　弘彦

日本のこころ、発信しつづけて48年

―男女共学、改革の成果明らか

学園創立48周年

開学に尽力された学園長
佐々木周二先生寿像
（本館南側）

第42回斯花祭が成功裏に終了した。ひさびさに活気のある大学祭であった。本年度の学生会は、男子学生が積極的に活動し、どのサークルも趣向をこらし、本学教育の特色を表現したものとなった。男女共学となって5年、改革の成果が見えてきた。

本学では、短期大学教育の今日の役割を、再構築してきた。設置する五学科での専門の学業を基に、社会生活を送るための知的教養力・心的教養力・応用技術力を身につけるにふさわしいカリキュラム、社会や高校生が求める学びを具体的にするコース制、有効に活用できる資格課程の充実などである。その中で、初等教育学科に、保育士資格課程を設けることが、望まれながら実現できないでいた。それは、本学からの申し入れに対して、初等教育学科という名称がネックになった時期もあり、所管部局では栃木県はすでに保育士養成校が飽和状態であるとの判断をもっていたことが原因となったこともあった。しかし、高等学校や幼稚園経営者からは、課程設置に強い要望が寄せられ、初等教育学科の学生募集、本学教育姿勢に対する信頼の失墜につながる影響も考慮されるにいたり、課程設置に強い意志をもって望むこととなった。さらに、国においても、幼保一元化の指針など、幼稚園と保育園の連携が望まれるようになったことで、行政においても、こども学科などへの変更をしなくても、課程認可をするようになった。以上を踏まえて、平成20年、栃木県を経て、保育士課程設置の計画書を提出し、栃木県及び関東信越厚生局の指導・審査のうえ、これを申請書として受理されるにいたった。正式な認可は、平成21年3月になるが、申請中を明記しての学生募集が11月開始できることとなった。待ち望んでいた高等学校、その生徒は、11月5日実施の、指定校推薦・一般推薦入試では、幼稚園教諭・保育士コースの志願者として受験した。

なお、初等教育学科の学年定員はこれまでと同様１００名であるが、従来、入学後に将来目的にあわせて選択していた専攻は、本年実施の入試から、幼稚園・保育コース、小学校・幼稚園コースの２コースに分離した募集をし、合格判定もコース別に行うことになった。入学後のコース変更は原則として認められないこととなる。（６頁参照）

保育士資格課程の設置（申請中）

明21年度よりスタート

初めての保育士資格課程入試（11月５日）

更なる充実と発展を期して
学園創立48周年記念式典を挙行

学園創立48周年記念式典が10月９日、学園40周年記念館を式場として、来賓、法人役員、教職員、学生・生徒が列席し厳粛に執り行われた。

はじめに太平山神社小林一成宮司を斎主として奉告祭が斎行された。修祓・斎主一拝・献饌、斎主の祝詞奏上とつづき、神前神楽「浦安の舞」が奉納され、学園代表者が玉串を奉り拝礼した。

つづく記念式典は、木村好成理事長が式辞を述べたあと、永年勤続者（短大関係７名）が表彰された。

永年勤続者表彰・短大関係

30年勤続
林田　孝和　国文学科長・教授

20年勤続
戸田　正勝　学芸員
伊藤　高雄　非常勤講師

10年勤続
千明　守　教授
佐多　芳彦　非常勤講師
傳馬　義澄　非常勤講師
北川　智子　コンピュータ技師

「もとつこころ」新たに
理事長　木村好成
（式辞要旨）

本学園は昭和三十五年四月、國學院大學の附属高等学校として開設され、四十年に幼稚園、四十一年に短期大学、平成八年に中学校を開設して今日に至っています。

創立記念日を祝うということは、学園の創立の時に立ち返って、改めて建学の精神を想い、初心に返って決意を新たにするところに意義があります。本学園の母体である國學院大學は、皇典講究所の創設を以って学校の歴史の始まりとし、明治十五年十一月四日、有栖川宮幟仁親王より賜ったその「告諭」に謳われた精神を建学の精神としています。

私たち日本人が学問をするためには、まず学問をする基本の心を知ることが大切です。基本の心とは、「国体の講明」、即ち、国の成り立ちを知り、さらに国の在り方を知り、国の将来の目指すべき道を知ったうえでの学問こそが、国の基礎を固める力となり、また国を正しい方向に導く力となります。併せて「徳性の涵養」、即ち、国民の一人一人が古来から伝わる日本民族の良識を正しく養い育てて、各自の人生を全うすることが大切であり、このことは、百世紀の末までも変わることのない、人間の踏み行うべき大道です。

本学園は、この告諭の精神を貫くことで、道徳を尊ぶ真の日本人を育成しなければならないと思っています。悠久の歴史の流れに育まれた大和心を受け継いで存在する日本、そこに生きる日本人の考え方が人類社会の発展と世界の人々に真の幸福をもたらします。国際社会での日本および日本人の役割と國學院の設立の意義と使命を、今日のこの機会に十分に認識して、各自が日頃の学業に一層精励し、将来有為の日本人となるように切望いたします。

第42回斯花祭

味に定評のある（みるく倶楽部）

練習の成果を披露する（マジック研究会）

個性が光る写真を展示（写真部）

受付をする来場者（学生会本部）

学生会制作のアーチ

手作りの立て看板が並ぶ学園坂

第42回斯花祭
柊～無限に広がる可能性～

第42回斯花祭が11月23・24日の２日間「柊～無限に広がる可能性～」をテーマに開催された。各クラブ・研究会・学生有志など44団体が参加し、多彩な催しが繰り広げられた。

斯花祭実行委員長の佐久間和彦（国文学科２年）、学生会長の作井智治（商学科２年）を中心とした実行委員や各サークル・団体が、どのようにすればより多くの人に見ていただけるか、あるいは効果的かなどそれぞれが試行錯誤しながら、連日遅くまで準備が進められた。訪れた人たちは、冬の訪れを感じさせる太平山の遅い紅葉を間近に見ながら、趣向を凝らした展示をはじめ、日頃の練習の成果を披露した公演、メニューも豊富で美味しい模擬店など、年に一度のイベントを楽しんだ。

実行委員会本部企画としては、恒例の斯花グランプリ（受賞団体は下表参照）のほか、國學院大學栃木短期大学を紹介する手作りの冊子の作成、さらに斯花祭最大のイベント「お笑いライヴ」が、今年は「東京０３」と「こまつ」の２組を迎えて、24日午前11時より四十周年記念館で開催された。

それぞれの個性豊かで、ユーモアあふれるトークにしばし楽しいひとときを過ごした。

▲ポスターデザイン賞
三井恵美さん（初等教育学科）

第42回斯花祭参加団体と斯花グランプリ

	展示部門　(14)	
金賞	写真部	写真展示
銀賞	書道部	斯花書道展
	華道部	華道展
	近世史研究会	大奥
	近代史研究会	幕末維新期の展示
	古代史研究会	京都・飛鳥についての展示
	児童教育研究会	お化け屋敷
	初等教育学科１・２年有志	エプロンシアター・手遊び他
	推理小説（ミステリ）研究会	部誌展示販売
	東洋史研究会	東京国立博物館東洋館について
	美術工芸部	作品展示・七宝焼体験
	ピーナッツハウス	展示・身体測定
	漫画アニメーション部	作品展示
	民俗学研究会	夏季採訪の報告「金毛九尾の狐考」
	公演部門　(10)	
金賞	マジック研究会	マジックショー
銀賞	コーラス部	「うたをうたうとき」他
	演劇部	公演「ラヴサブリーミズム」
	ことのは会	絵本・童話の朗読
	茶道部	秋のお茶会
	室内楽研究会	金管・木管・打楽器アンサンブル他
	箏曲部	琴の演奏会「さくら幻想曲」他
	ダンス部	ダンス公演
	人形劇部	公演「白雪姫」
	フォークソング部	ライヴ演奏
	模擬店部門　(20)	
金賞	みるく倶楽部	オムライス・ケーキ
銀賞	バスケットボール部	おでん
	片柳寮有志	おにぎり
	弓道部	けんちん汁
	剣道部	カレーライス
	考古学研究会	焼きうどん
	紅茶とハーブティーの会	紅茶・お菓子
	斯花わーくす	手芸作品販売
	ソフトボール部	フランクフルト
	卓球部	パウンドケーキ
	中世史研究会	飲み物
	テニス部	チョコバナナ
	博物館研究会・物と伝承の会	焼きそば
	バドミントン部	ホットケーキ
	バレーボール部	からあげ・ポテト
	フットサル部	とん汁
	ペン字研究会	ロールクレープ
	みたらし会	だんご
	文芸部	部誌販売
	落語研究会	味噌こんにゃく

東京０３（写真上）とこまつ（写真左）のお笑いライヴ

軽妙な話術に沸く会場内

夢の実現に向かって

教育実習に１２４名が参加

平成20年度の本学国文学科・家政学科・初等教育学科・日本史学科の教育実習は、中学校国語・家庭・社会の教科が6月2日から28日までの４週間、養護教諭が6月2日から21日までの３週間、そして幼稚園および小学校教諭が10月6日から11月1日までの４週間、それぞれの出身校・出身園を中心にして行われた。（概況については下表参照）

それぞれの実習校・実習園では先生方が日々の多忙な仕事の中、自分たちの後輩を育成したいとの篤い気持から発する熱心なご指導をいただいた。実習生たちは教材研究や指導案・保育案の作成などに悩みながらも、休み時間や空いた時間には積極的に子どもたちとふれあい、その中で教師という職業の楽しさ、すばらしさを体感する事ができた。

教育現場での長期にわたる教育実習を終えて戻ってきた学生たちは、教職に対する意識をさらに強め、自己の夢の実現に向かって今日も大学での勉強に励んでいる。

教科指導をする実習生

平成20年度　教育実習概況

	中学校（３６校）			養護（３３校）	小学校（１４校）	幼稚園（３１園）	合計(名)
	国語	家庭	社会				
学校依頼	１４	5	8	１０	7	２２	６６
個人依頼	8	2	6	２４	7	１１	５８
合 計（名）	２２	7	１４	３４	１４	３３	１２４

平成20年度 公開講座

秋季公開講座

古 文 書 を 読 む

－幕末維新期の御触書と風説留－

日本史学科長 教授
博士（歴史学） 田中 正弘

9月17日、24日
10月1日、15日、22日
15:00～16:30　学園教育センター

短 歌 教 室

講師 千勝三喜男

9月30日
10月14日、28日
11月11日、25日
12月 9日
1月20日
2月 3日、17日
3月 3日
13:00～15:30　学園教育センター

社 会 人 の た め の 教 養 講 座 Ⅱ

9月27日	香辛料と近代世界の成立－風土、経済、そして人間－	教授 博士（経済学）	寺崎宣昭
10月4日	高齢期の食と健康－元気で長生きのための食生活のすすめ－	教授 博士（栄養学）	湯川晴美
10月11日	情報源検索法のフレームワーク	教授	渡邉敏一
10月18日	現代敬語の問題点	教授 博士（文学）	村山昌俊
10月25日	環境問題を考える	教授	田中 力
11月1日	将軍の主治医坪井信良のみた維新変革	教授 博士（歴史学）	田中正弘

14：00～15：30　本学７３５教室（10月11日から７３３教室）

日本史学科学外講座　歴史にみる文明と文化 Ⅳ

10月18日	幕末の一旗本の日記に見る生活	教授 博士(歴史学)	田中正弘
11月1日	五代将軍綱吉と御用人政治	教授 博士(歴史学)	深井雅海
11月8日	清代の地方官廟	教授 博士(文学)	松本隆晴

14：00～15：30　二荒山会館（二荒山神社）

国 文 学 科 公 開 講 座　こ と ば と 文 学

平成21年			
1月31日	「の」という曲者、そして、芥川の「の」	教授 博士（文学）	中村幸弘
2月14日	近代小説のことばと文体	教授	岡本 岱
2月21日	『紫式部日記』のことば	教授 博士（文学）	南 芳公
2月28日	付合語について－芭蕉俳諧を中心に－	教授	塚越義幸
3月7日	近代日本語の漢語について－文明開化期を中心に	教授 博士（文学）	村山昌俊
3月14日	軍記物語に見える中世のことば	教授	千明 守

14：00～15：30　学園教育センター

家政学科　教員採用試験支援講座
教員採用試験の合格率アップを目指して

家政学科では進路支援の充実と各都道府県教員採用試験の合格率を上げることを目的として、1・2年生を対象に『教員採用試験支援講座』を、5月から翌年2月まで年間を通して実施している。

家政学科教員8名が、受講生約30名に「一般教養」「教職教養」「家庭科・養護の専門科目」「小論文」「面接」等、試験問題の傾向と対策を講義し、更に模擬試験を実施し、その結果についての解説を行っている（左図参照）。

恒例の先輩合格者による体験伝授は、6月18日、栃木県教員採用試験に合格された水沼聡実さん（平成18年家政学科卒業・栃木県横川中央小学校養護教諭）を講師に迎えて開かれた。水沼さんは、「学校で養護教諭は太陽のような存在である。あきらめず努力すれば必ず夢は叶う」と、養護教諭への熱い思いを自らの体験談を交えて語られた。受講生は、真摯な態度で聞き入り、講話後は水沼さんが使用されたノートやカード、問題集を手に取り、勉強方法や受験に対する心構え等を再確認した。また、受講生からは「なぜ養護教諭になりたいと思ったのかという最初の気持ちを忘れず、自分の勉強方法を見つけ努力したい」との感想がよせられ、それぞれが「養護教諭になりたい」という思いを強め、新たな決意に胸を膨らませていた。

家政学科では、この支援講座とは別計画で、受験する県の面接練習を採用試験前に実施している。

家政学科　教員採用試験支援講座

月　日	内　　容
5/21	オリエンテーション
5/28	一般教養
6/4	小 論 文
6/18	先輩合格者の体験伝授Ⅰ
6/25	教職教養
9/3	面　　接
10/1	専門科目Ⅰ（養護・家庭科）
12/3	専門科目Ⅱ（養護・家庭科）
12/10	先輩合格者の体験伝授Ⅱ
1/14	模擬試験（「一般教養」「教職教養」、「養護」または「家庭科」）
1/28	返却・解説（「一般教養」「教職教養」）
2/4	返却・解説（「養護」または「家庭科」）

信じることで　すべてが始まる

水沼聡実　第39期家政学科卒

たくさんの人に支えていただきながら2回目の採用試験に挑戦し、念願の養護教諭への道が開けたことを心から嬉しく思います。養護教諭を志した理由は、高校時代の養護教諭の先生が悩んでいた私と真剣に向き合い、私自身の解決する力を伸ばしてくださったことがきっかけでした。その時から、養護教諭への夢は揺るがないものとなりました。

期待と不安を抱えながら短大に入学しましたが、養護教諭に関する講義を受けることがとても嬉しく、毎日の授業を大切にしようという気持ちを持ち続けることができました。

しかし、採用試験が大きな壁に感じて、自分は一体いつ合格できるのかと大きな不安を常に抱えていました。その結果、うまく自分を表現できず、初めての採用試験では、二次試験で不合格となりました。しかし、その失敗は私の大きな財産になり、自分を信じることの大切さを痛感しました。「信じることで全てが始まる」という言葉を胸に、夢に向かって、少しずつ自分のできることから始めました。例えば、毎日の電車通学の時間を有効に活用して問題集を解いたり、関係分野の本や雑誌を読んだり、それらの試験対策を楽しく継続するということを心がけました。

私は、心身両面から子どもたちの健康に関わることができる養護教諭という魅力のある生き方を、自分の夢にできたことをとても幸せに思います。まだまだ未熟ですが、四季を感じる学校という場所で、子どもたちからたくさんの元気や勇気をもらいながら、自分自身も一緒に成長できる毎日が宝物です。

なぜ自分が養護教諭になりたいのかを常に心に留め、自分自身を信じてあげてほしいと思います。自分を信じることができるのは自分だけなのですから。どんなに辛いときも、養護教諭への熱い思いと自分を信じる気持ちがあなたを支えてくれるはずです。

基礎から実践的に学び、多様な進路の選択が可能

早期内定者の声

国文学科

日本語・日本文学コース
創作文芸コース
民俗文芸コース

ここで得たもの　　長澤　萌（静岡県出身 / 宗教法人鶴岡八幡宮内定）

就職活動では、短大生活で学び、身につけたさまざまなことが役に立ちました。それまでの物事に対する姿勢に大きく影響すると思います。本学の特色である神道の授業で深く学び理解できたことが就職先の選択にもつながりました。また、不安になった時、相談に応じてくださる先生方や応援してくれる友人がいたことは大きな励みになりました。どちらも、ここでなければ得られなかったものです。

家政学科

セメスター制専門学問選択
生活科学専攻
健康科学専攻

何事にも積極的に　　佐藤かすみ（栃木県出身 / 芳賀赤十字病院内定）

私は高校時代から病院で働きたいと思っていました。一般企業とは違い説明会がないので、積極的に学生支援室に通って情報を集め、たくさんのアドバイスをいただきました。就職活動は自分の進みたい道を明確にし、諦めずに根気強く行うことが大切だと思います。

初等教育学科

幼稚園・保育コース
※2009年4月新設（認可申請中）
小学校・幼稚園コース

夢が実現したとき　　海村　愛（福島県出身 / 大平みなみ幼稚園内定）

本学科で教員としての知識・技能を身につけるとともに、夢を叶えたいという気持ちをより強くしました。國栃短大で学べたことで、自分の夢が叶い、自分にあった就職先を選ぶことができました。今後もこれを生かして努力していきたいと思います。

日本史学科

日本史コース
文化・美術史コース
考古学コース

納得のいく就職を　　千葉　茜（埼玉県出身 / 株式会社芝浦電子内定）

私は自分の就きたい業種や職種が決まらず、とても悩みましたが、インターンシップや説明会に積極的に参加することで、自分の方向性を見出すことができました。後で後悔しないためにも、たくさん悩み、自分から行動することが大切だと思います。

商　学　科

国際経済コース
経営会計コース
ビジネス情報コース

自分を知る　　工藤 竜也（埼玉県出身 / レッドフォックス株式会社内定）

何をやりたいのか、何ができるのか、逆に新しいことに挑戦をしようと思っているのか、決めるのは自分自身。いかに、才能を引き出せるかは何事にも一生懸命でいられる職種に就くことが重要だと思います。

平成21年度　入学試験日程および選考方法

試験種別	A方式入試 センター型入試（A日程） 奨学生入試	B方式入試 センター型入試（B日程）	C方式入試 国学院大学受験者 対象入試
願書受付期間	平成21年1月8日(木)～2月4日(水)	平成21年2月12日(木)～3月4日(水)	平成21年3月9日(月)～3月21日(土)
試験日	2月7日(土)	3月5日(木)	3月23日(月)
合格発表日	2月10日(火)	3月7日(土)	3月24日(火)
選考方法	①A方式入試／1科目(100点)入試・調査書・面接 ◆国文学科 国語総合（漢文を除く） ◆家政学科・初等教育学科・商学科 国語総合（古文・漢文を除く） ◆日本史学科 日本史B、世界史Bのうち1科目選択 ②センター型入試（A日程）／センター試験における成績（2科目得点）、調査書、面接 ③奨学生入試／2科目（200点）、調査書、面接 選考方法はB方式入試と同様。但し、日本史学科の選択科目は、日本史B、世界史Bのうち1科目選択	①B方式入試／2科目（200点）入試・調査書・面接 ◆国文学科 国語総合（漢文を除く）、英語Ⅰ・Ⅱの2科目 ◆家政学科・初等教育学科・商学科 国語総合（古文・漢文を除く）、英語Ⅰ・Ⅱの2科目 ◆日本史学科 必修科目　国語総合（古文・漢文を除く） 選択科目　英語Ⅰ・Ⅱ、日本史B、世界史Bのうち1科目選択 ②センター型入試（B日程）／センター試験における成績（2科目得点）、調査書、面接	① C方式入試／調査書、面接、小論文（600字程度・60分） ② 国学院大学受験者対象入試／ （Ⅰ）調査書、面接、小論文（600字程度・60分）、 （Ⅱ）調査書、面接、国学院大学における受験結果（得点） ※（Ⅰ）または（Ⅱ）を志願者本人が選択

恒例の秋の学科講演会が、11月12日、12時50分より７３５教室において開催された。

本年度は、聖徳大学短期大学部から碁石雅利教授を講師に迎え、演題は「『源氏物語』作者のことばづかい」であった。碁石先生は、昭和30年千葉県のお生まれである。國學院大學から同大学院へと進まれ、現在は兼務として、母校の大学院や二松学舎大学などでも講師を勤められている。平成14年に『平安語法論考』で博士の学位を取得、また引き続き、國學院の国語学者として著名な今泉忠義先生の名を冠した今泉博士記念賞を受賞された。本学の中村幸弘学長との御共著も多く、『古典敬語詳説』『古典文の構造』『古典語の構文』などがある。さらに、『ベネッセ古語辞典』『ベネッセ全訳古語辞典』など、辞典の編集委員としても活躍されている。以下、講演内容の要旨に移る。

熱心に講ずる碁石雅利氏

国文学科講演会　11月12日
『源氏物語』作者のことばづかい

聖徳大学短期大学部教授　碁石　雅利　氏

本講演では、『源氏物語』作者の持つ言語感覚を読み取ることができる材料を具体的に指摘されつつ、作者固有のことばづかいがどのようなものであったかについて、次の五点から述べられた。

(1)作者は、美を評価するのに身分や重要度といった基準を適用した。

古代から物の清潔・清浄と人の美は、「きれいだ」に相当する言葉で表される。『源氏物語』にも「きよし」から派生した「きよらなり」と「きよげなり」があった。源氏・紫の上・匂宮・朱雀帝・冷泉帝など、第一級の出自を持つ重要な登場人物には「きよらなり」を用いて形容し、薫・玉鬘・内大臣・柏木・八宮など、前者に比してやや落ちる（とはいえ、かなり身分は高い）人物には「きよげなり」を用いる。それ以下の美しい人物は「きたなげなし」「きたなげならず」と形容したのである。

(2)作者は、和歌の技巧を地の文や会話文にも盛り込んだ。

通常は和歌に用いる枕詞・掛詞・本歌取りなどの修辞的技巧をふんだんに使って文章を構成している。このような方法は『源氏物語』以前にはない。作者は、和歌を作るような姿勢で文章を書いた。ために、物語が文学へと昇格し、後世、和歌の補助学として歌人に重宝されるに至ったのである。和歌の方法は詞藻ばかりでない。風景描写によって心情を表したり、省筆と余情を重んじ、短い言葉に多くの意図を込めたりする、和歌の思想や手法をも取り入れている。とりわけ余情は、藤原公任の唱えた「余りの心」をそのまま物語の文章に活用したものといわれる。

(3)作者は、一度にすべての情報を公開しない。

いわゆる双関法である。登場人物に関する情報を少しずつ出すことで、手がかりはわずかしか与えない。前に出たか出ないか分からないような情報が、かなり隔たった後の内容を把握するのに大きく影響するから、注意深く読まねばならない。読者に疑問と期待を抱かせるばかりか、かなり高度な読解力を要求するのである。

(4)作者は、登場人物の会話を工夫した。

人物をくっきりと造形するために、役割語を語らせて現実性を得た。博士の娘で才気走った女に衒学的な漢語を並べさせて男の嫌気を募らせる。時流から取り残された頑迷な博士が大時代なことばづかいを振りまわして周囲の失笑を買う。さらに、柏木には独特の発音を配することで他の顕官と区別するなど、多様なことばづかいを会話文に駆使して生き生きとした人物像を描き出している。

(5)作者は、敬語法に一貫性がない。

客体尊敬語「―たてまつる」と「―きこゆ」が付く動詞に偏りがあることまでは従来知られていた。そこで、多く「―きこゆ」の方の付く動詞について、物語の系統を四分類したものに現れる分布を見ると、明らかな偏在を示したのである。それまで厳格に「―きこゆ」しか付けなかったものが、若菜上巻以降になると「―たてまつる」も付けるようになる動詞が20語ほど見つかった。その大部分は、両方の語を使い分ける明確な基準が見出せない。桐壺から藤裏葉に至るまでの敬語に対する作者の感覚とそれ以降のものとでは異なっていたことを示す。あるいは、若菜上以降の物語には、別の感覚を持つ作者が関わった可能性も考えられよう。

◇　◇　◇

年に一度の講演会であるが、本年はとりわけ源氏物語千年紀が様々なメディアで話題となる中で、古典の生命力と学問の奥深さを学びながら、緊張感ある刺激的で貴重な時間を過ごすことができたと思われる。

文責　教授　南　芳公

生き生き卒業生 ㉕

学生生活と今後のビジョン

第41期生商学科　澁川健太

プロフィール

群馬県前橋市在住。
高崎市立高崎経済大学付属高校普通科社会科学系を卒業し、本学商学科に入学。卒業後、群馬大学社会情報学部情報社会科学科に編入学し、政治学を中心に社会科学系の学問を学際的に学んでいる。

本学での2年間

本学での2年間を振り返ると、自分が何を学びたいのか、何をしたいのか、どういった仕事に就きたいのか、といった自身の将来のことなどをゆっくり考えることができた2年間であったように思います。

また、そうした2年間にすることができたのは、本学でたくさんの先生方とお話させて頂くことができたからであると考えています。さまざまな考え方を持たれている先生方のお話は、自分のことや社会のことを考える上で、とてもいい刺激になりました。今では、そうした経験が学際的な社会情報学部への興味に繋がっていったのではないか、と考えています。

短大の商学科謝恩会で同期の友人と(写真左が澁川君)

社会情報学部とは？

ところで、私の在籍する社会情報学部とはどういったことを勉強する学部なのか、ということをよく聞かれます。夏季休暇中に群馬県庁でインターンシップ実習をさせていただいたときにも、職員の方に「社会情報学部って、何をするところなの」とよく質問されました。しかし、社会情報学とはまだ確立されていない学問領域であるので、それぞれの先生方でその定義は実に多彩なものとなっています。

そこで、私の考える社会情報学部を説明させていただくと、社会情報学部とは「社会情報を中心に情報学、経済学、経営学、会計学、政治学、社会学、法学、心理学、環境学、などを学ぶ学際的な学部であり、私は主に政治学、経済学、経営学、会計学、法学系の科目を履修していますが、ただ学際的だというのではなく、その主眼は、既存の学問領域をしっかりと学んだ上で、社会情報がそれらに及ぼす影響を考え、さらに、社会情報を使いこなす術を磨くことだと考えています。」

群馬大学での生活

さて、このような社会情報学部での生活はというと、それなりに充実したものになっています。短大時代の単位をあまり認定してもらえなかったので、授業の数が一般の学生より大分多いのですが、ＥＲＥやＴＯＩＥＣなどの資格試験の勉強にも力をいれています。

また、ゼミでは週1冊のペースで政治学に関する本（ネオ・コーポラティズム、ネオ・リベラリズム、グローバル資本主義、ポスト・デモクラシー、地方分権、等々）を読み、その要旨、追加調査、考察を発表し、それとは別に自分自身で選んだ時事問題の考察、発表なども行っています。

さらに、就職活動（現段階では企業分析や業界分析、各種就職セミナー、ＳＰＩ対策など）を行いながら、将来は地域に貢献できる（まちづくりに関係できるような）ソーシャルベンチャー（駒崎弘樹氏の著書『「社会を変える」を仕事にする』より、簡単にまとめると「ビジネスのノウハウや戦略などを活用し、事業によって社会問題を解決するＮＰＯ」）を起業したいと考えているので、それを見据えた学習も独自で行っています。

大学における同じゼミの学生との打ち合わせ（写真中央が澁川君）

もちろん、友人との時間や趣味などに使う時間もできるだけ取るようにしています。群馬にいる友人とは1か月に1回はお酒を飲みに行き、くだらない話をしていますし、他県の友人に関しても就職活動の帰りや趣味の旅行の際に会って、近況や日常のたわいのない話などをして楽しんでいます。そういった時間が勉強や就職活動に追われる日々に潤いをもたらし、基本的にぐうたらな私に力を与えてくれています。

今後の進路

卒業後の就職先につきましては、さまざま考えていますが、ソーシャルベンチャーを起業するまでに、たくさんの知識や経験を積める企業を広範囲に探していて、現段階では業種を限定せずに職種や社員の教育システムなどを重視して就職活動を行っています。夢の実現に向けて一つの重要な局面である今、勉強も就職活動も一層努力して夢を掴み取りたいと思います。

図書館だより

復刻文芸雑誌21

特別コレクションガイド㉝

「復刻版　近代文芸雑誌稀少十種」（紅野敏郎編　雄松堂出版　平成19）のうち残りの一誌『没落時代』を紹介する。

『没落時代』　創刊昭和13・4　没落時代社（雄松堂複製　平成19　1冊）

編集兼発行人は尾崎士郎。同人誌とまでは至らず尾崎の個人誌的色彩が強い。

全42ページの薄い雑誌ではあるが、目次に載げられた執筆陣の豪華さに驚く。

尾崎の巻頭論文〈没落主義に関して〉は当然のことながら、萩原朔太郎、浅見淵、雅川滉（後の成瀬正勝）、小野松二、伊藤永之介、久野豊彦、川端康成、鈴木彦次郎、中野秀人、中河與一、翻訳者として吉田甲子太郎の名が並ぶ。

尾崎が宇野千代と住んだ大森馬込の辺りは多くの文士、芸術家が居住し「馬込文士村」と呼ばれた。執筆者の多くがその文士村に住まう人達であったが敢えなく創刊号で廃刊。

『女子文壇』創刊明治38・1～終刊大正2・8　女子文壇社（不二出版複製　平14～17　全132冊）

編集兼発行人野口竹次郎。第3巻第1号以後は河井酔茗が編集主任となる。終刊を迎えるまでの九ヶ年は河井酔茗の尽力に支えられる。

誌友という形をとり、投稿者を募る方式は、表現の場を持たなかった当時の女性達にとって、意志表現の恰好な受け皿となった。

美文、消息文、雑文、短編小説、新体詩、はがき文、短歌、俳句の各項目に分けて応募をうけ、選者は全発行期間中異動はあるものの、塩井雨江、広津柳浪、尾上紫舟、佐佐木信綱、巌谷小波、与謝野晶子、横瀬夜雨、内藤鳴雪等々、正に「綺羅、星の如く」と言える。

投稿者は別として寄稿者の名を見てみると、文学者は当然のことながら教育者が多くいる。羽仁もと子、津田梅子、三輪田真佐子、下田歌子、成瀬仁蔵等の名が挙がる。

誌面を飾る執筆者は多数にのぼり、羅列を避けるが、投稿者の中から多くの女流を輩出したことは大きな役割であったと言える。

『白百合』　創刊明治36・11～終刊40・4　東京純文社（臨川書店複製　平成8　全42冊）

雑誌「明星」から岐れた前田林外、相馬御風、岩野泡鳴らが創刊した詩歌を中心とした文芸雑誌。

脱「明星」を掲げた同誌が一番評価される点といえば、民謡の研究に力を注いだことといわれる。第4巻1号より終刊まで民謡特集号を組み、全国から採集した民謡を載せた。

主な寄稿者は石川啄木（比較的多い）、薄田泣菫、児玉花外、佐佐木信綱、金子薫園、窪田空穂、森鴎外、坪内逍遙などで、列挙できないことが残念。見たい方、カウンターへ。

図書館長　太田映子

事　報

■本学および関係者出版紹介■

○野村敬子非常勤講師著　「語りの廻廊」　瑞木書房刊

■行事・集会■

10月６日～11月１日　初等教育学科２年生教育実習
9日　学園創立48周年記念日・記念式典
15～16日　１年生秋季研修旅行
18日　医療管理秘書士能力認定試験　日本漢字能力検定
11月５日　一般推薦・指定校推薦入試
8日　秘書技能検定
12日　国文学科講演会「『源氏物語』作者のことばづかい」聖徳大学短期大学部教授　碁石雅利氏
19日　国文学科卒業研究ガイダンス
19・21日　国文・家政・初教・日本史学科２年生教員免許状申請ガイダンス
23～24日　第42回斯花祭
26日　日本学生支援機構奨学金返還ガイダンス
29日～　前期追・再試験
12月１～５日　国文・日本史学科卒業研究提出
6日　自己推薦・社会人入試

教員免許更新制について

平成21年４月１日から教員免許更新制が導入されます。

◇ 更新制の目的は、その時々で教員として必要な最新の知識技能を身につけることです。

◇ 平成21年４月１日以降に授与される教員免許状には、10年間の有効期限が付されます。

◇ すでに教員免許状をお持ちの方は、修了確認期限前の２年間に、大学などが開設する30時間の免許状更新講習を受講することが必要となります。
本学でも平成21年８月に開設する予定です。決定しましたらホームページに掲載いたします。

＊ 詳細は文部科学省のホームページをご覧ください。(http:/www.mext.go.jp)

文化を学び、親睦を深めた秋季研修旅行

1年生秋季研修旅行が、10月15・16日の1泊2日で実施された。国文学科は花巻方面、家政・初等教育・商学科は会津若松方面、日本史学科は信州方面を訪れ、それぞれの地で文化を学び見識を深めた。また、友人との親睦を更に深め、今後の学生生活を有意義にする良い機会が得られた。

国文学科

毛越寺、中尊寺、高村山荘、宮澤賢治記念館・童話村（写真）・博物館

家政学科

大内宿、福島県立博物館、御薬園、日新館（写真）、五色沼散策、野口英世記念館、世界のガラス館

初等教育学科

鶴ヶ城、会津若松市内班別研修（写真）、五色沼散策、郡山市立美術館

日本史学科

旧開智学校、松本城、真田邸・真田宝物館・文武学校・横田邸（写真）

商学科

郡山市立美術館、クラリオン東北製造工場、野口英世記念館、会津武家屋敷、飯盛山（写真）、鶴ヶ城、大内宿

一日一日を大切に

1年生対象就職支援

全学科1年生を対象に、学生委員会・学生課・学生支援室が企画する就職支援を開始した。

9月26日午後、日本経済新聞販売開発株式会社の協力により、**「就職に役立つ新聞の活用法」**のセミナーを実施した。講師の大谷昌男氏は、近年新聞を読まない人が増えている理由として読み方が分からない人が増加している現状を踏まえ、当日の日本経済新聞をテキストとして、新聞の紙面の構成や重要な箇所、就職活動に役立つ紙面の活用法などを分かり易く説明された。セミナー修了後、実務教育出版社の**就職模擬試験**を実施した。国語、英語、社会・文化、自然科学の共通問題と時事・社会常識の希望業種別選択問題が出題された。いかなる進路を選択しても基礎学力や時事・社会常識は必要不可欠な要素であり、この試験で自己の到達度を認識し、更に努力する契機となった。

就職のための一般教養試験対策講座は10月22日から12月3日まで開講され、94名の学生が受講した。講座は、それぞれの担当教員が作成した模擬試験と解説解答を使用して行われた。受講者は、就職試験における一般教養の重要性を実感し、これからするべきことを明確にした。

就職のための一般教養試験対策講座

開催日	分野	担当者
10月22日	数　学	正木孝昌教授
10月29日	理　科	北村奉正教授
11月12日	英　語	山本博子教授
11月19日	政治・時事	佐藤圭一教授
11月26日	歴　史	小林青樹准教授
12月３日	経　済	寺﨑宣昭教授

時間16:10～17:40（④のみ18:30迄）場所733教室

もとつこころ

奈良県明日香に、県立万葉文化館がある。この秋、田中一村生誕百年記念ー原初へのまなざしー特別展が催された。六月に中西進文化館長が、中学生への万葉出張講義で学園に来られたことのお礼に伺ったことで、偶然本展を観ることができた。

展示は普段目に触れられない個人所蔵作品に、初公開や新発見作品をまじえた、幼少期から晩年までの作品を一挙に紹介するもので、一村の生涯を跡づける作品一六〇余点を展観でき、幸運であった。

一村は明治四一年に栃木市に生まれ、本名孝、前号米邨。父は稲邨と号し地元の彫刻家。昭和五二年九月、ほぼ二十年にわたり制作を続けた奄美大島で心不全で倒れ、六九歳の生涯を終えたが、死後に発見された見事な作品群でその名が知られた。昭和五九年十二月、ＮＨＫ「日曜美術館」で「黒潮の画譜ー異端の画家田中一村ー」が全国放映されてから、「幻の放浪画家」・「異端の画家」として一大ブームを呼んだ。墓は、栃木市満福寺にある。（好）